一般質問

Point 一般質問とは

◇一般質問とは行政全般にわたり、市長などの行政側に対し、現状や見通しを質問したり、あるいは報告や説明を求めたりすることです。

◇時間制限は質問、答弁時間を含めて60分以内です。

◇一般質問をする議員はその要旨を事前に通告することとなっています。

9月定例会では11名の議員が一般質問を行いました。
本会議のネット中継及び録画配信を行っています。
ホームページや各議員のQRコードから視聴できます。

9月定例会において多くの方が傍聴にお越しくださいました。ありがとうございました。

本市の住みやすさ向上に公共交通の更なる充実を求む

市内どこに住んでいても少ない負担で利用できるよう検討



佐川　京子 議員

Q 公共交通は市民生活に便利さと生活に潤い安心をもたらすので、さらなる充実を望む。「定率タクシー移動支援事業」は、上限5千円の運賃半額補助で市民に好評であるが、今後市内循環バスのエリア拡充、市民に公平な「タクシー定額均一料金」の導入を望む。

A 本市は思考錯誤を重ね利用しやすい公共交通の在り方を模索している。システムを整えるため、市の財政負担に配慮し検討を加え、今後とも全力で取り組む。



Q 農業政策について、今、米農家は、一昨年の米不足からの米価の高騰、今年の米余りによる米価の下落、これら乱高下により経営が危機に瀕している。農家が持続可能で安定して美味しいお米を生産出来るよう力をつくしてほしい。

A 本市の農業は、大規模農業者ばかりでなく多くの小規模農業者により支えられている。地域農業全体の振興を念頭に的確な支援のあり方を検討していく。農業を取り巻く環境は厳しいが、担い手が希望を持って農業経営の継続が出来るよう、農地が次世代に円滑に引き継がれるよう地域農業の維持発展につなげていく。

貴重な遺跡の管理・活用を充実させる

遺跡の改修・移設、説明板の設置を検討



植村　美洋 議員

Q 南湖公園の共楽亭はかなり老朽化しており改修が必要と思われるが、考えを伺う。

A 現地調査を実施した上で文化財としての価値を損なうことがないよう、適切な修復を検討していく。



共楽亭

Q 「南湖開鑿碑（なんこかいさくひ）」は元々あった湖畔の位置に戻すべきと思うが、考えを伺う。

A 本来の位置に戻す調査・検証を行い移設の検討をしていく。

Q 旧白河城（小峰城）大手門の説明板を設置してはどうか、考えを伺う。

A 大手門の存在や歴史的価値を知って頂き、地域の歴史を伝える上でも意義があることから、設置に向けて検討する。

Q 「農産物ブランド白河しろもの」のブランド品を組み合わせた商品の開発が必要と思われるが、考えを伺う。

A メニューや弁当などの商品開発を進めるとともに、販売促進、販路拡大に向けて事業を展開していく。

Q 「しらふる」における生涯学習に関する事業はどのように計画されているか。

A 中央公民館の講座を継続しつつ、時代の変化に対応した講座を企画する。

母子避難所の整備を！

災害の規模、状況に応じた避難所運営を行う



根本　建一 議員

Q　これまでの全国的な自然災害からどのような教訓を得て、日頃の防災行政にどのように反映させていくのか伺う。

A　避難所運営についてプライバシーの保護、高齢者や母子、ペット連れなど状況に応じた対応や災害関連死を防ぐ取組、また、速やかな給水活動などがあげられる。一自治体の対応には限界があるため、近隣の自治体、友好都市、民間企業などと支援体制を図ること等である。

Q　妊産婦や乳幼児を抱える世帯が安心して避難生活が送ることができるよう、母子避難所の整備や母子に配慮した専用スペースの確保、必要物資の備蓄、運営体制の整備が必要と考えるがどうか。



A　災害による避難生活は、不安やストレスを抱えやすくなる。とりわけ、妊産婦や乳幼児などの災害弱者は、更に負担がかかることから、専用スペースが必要となる。政府ガイドラインを参考に、災害の規模や状況を勘案して設置していく。また、運営にあたっては、女性職員を配置するなど配慮する。本年度、乳幼児の避難に対応するため、おむつや体ふき、離乳食などの備品を購入した。

戦没者慰霊碑の維持管理について市の関わりは

情報共有を図り意向を伺いながら協議する



戸倉　宏一 議員

Q　戦没者慰霊碑（忠魂碑）の維持管理における課題と市の関わりについて伺う。

A　民間団体等が建立した戦没者慰霊碑の維持管理は当該団体等により行われるのが基本であり、本市においても遺族会が中心となり役割を担ってきた。近年会員の高齢化や後継者の不在により、組織の維持も苦慮していると聞く。情報を共有し意向を伺いながら協議していく。

Q　散逸する戦没者遺品を含む戦時関係資料の保存について伺う。

A　ご遺族等から資料の寄贈等の相談があった場合、総合的に判断し対応する。

Q　大信総合運動公園野球場管理について伺う。



小峰城跡慰霊碑

A　大信球場はこれまでもナイター照明や放送設備など必要に応じて修繕を実施してきた。一・三塁側の応援スタンドに設置してあるベンチはプラスチック製の座面のため、経年劣化等による破損が著しいことから、座面を撤去する。引き続き市民の皆様が安全かつ快適にスポーツ活動ができるよう施設全体の状況把握に努め、適切な維持管理に取り組んでいく。

孤独死・孤立死のリスクを減らす施策について伺う

孤独・孤立に至る前に、支援が届く体制整備に取り組む



遠藤　公彦 議員

Q　本市において、単身世帯の増加が見込まれる中、孤独死・孤立死のリスクを減らすために、どのような施策を行っていくのか伺う。

A　官民・多職種が連携し、AI技術なども活用しながら、深刻な孤独・孤立に至る前に、支援が届く体制整備に取組む。



Q　新幹線停車駅の利便性を生かした移住・定住の取組として積極的にPRすべきと思われるが、考えを伺う。

A　現在、市ホームページや公式LINE等への掲載、市民課窓口でのチラシ配布に加え、東京で開催される移住フェアにおいて「転職なき移住」の有効な支援策として積極的にPRするなど、広く周知に努めている。

Q　部活動の地域展開を推進していくにあたり、学校部活動が担ってきた教育的意義は極めて重要と考えるが、どのようにして継承していくのか伺う。

A　指導者において、これまで学校部活動が担ってきた教育的意義や役割を伝えるとともに、研修を受講していただく。

こころのAI相談窓口実証実験の成果は

3か月間で398件の相談が寄せられた



室井　伸一 議員

Q　白河市こころのAI相談窓口はどのようなシステムなのか伺う。

A　臨床心理士や言語学者が監修した「傾聴・共感」に特化したAI相談システムで、スマートフォンなどから24時間いつでも悩みを相談することが可能である。

Q　こころのAI相談窓口実証実験の成果について伺う。

A　平日の夜間や休日などの閉庁時間帯での利用が半数以上あり、24時間相談できる有効性が証明された。また、10代～30代の相談が全体の約4割を占めており、悩みを抱えている若者に対する早期支援に有用であることを確認できた。

Q　こころのAI相談窓口の今後の活用について伺う。

A　今年度中の本格導入に向けて準備を進めているところであり、既存の相談体制とデジタル技術を効果的に融合させ、市民一人ひとりに寄り添った支援体制を構築していく。



白河市こころのAI相談窓口

国道289号八十里越の開通を見据えた展望

奥会津へのゲートウェイとしての役割を担う



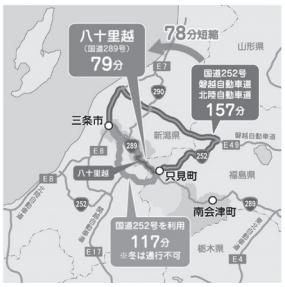
佐川　琴次 議員

Q　令和9年夏に、国道289号八十里越の開通を見据えた、本市と奥会津地域との広域観光連携の展望について、市長の考えを伺う。

A　八十里越は、豊かな自然環境の中を通り、素晴らしい眺望が望める道路であり、来年夏には八十里越が開通する予定であり、新潟県側との時間的な新たな交流や連携を促し、経済効果を生み出す大きな契機になる。私が本年5月に発起人となり、奥会津などの十一町村へ呼びかけて白河―奥会津広域観光協議会を設立した。今後は只見町と隣接する三条市において、観光プロモーションを展開しながら、開通後を見据えた相互誘客や新たな広域観光ルート形成を進めていく。

Q　東地域活性化協議会の第5期活動報告書における東風の台運動公園活性化に向けた提案について市の考えを伺う。

A　5つの提案の中で、東風の台運動公園内の桜ライトアップを行い、地域の桜の名所として魅力を発信した。屋外トイレの整備は来年度に予定。オートキャンプ場などの整備は今後調査・研究する。



国道289号八十里越の効果

白河藩成立400年記念事業と伝統文化共楽事業の概要は

5月に小峰城清水門前に特設舞台等を設置し薪能を上演



大花　務 議員

Q　白河藩成立400年記念事業と伝統文化共楽事業の概要について伺う。

A　来年4月に清水門復元工事完成記念式典と小峰城さくらまつりを、5月22日に伝統文化共楽事業として小峰城清水門前に特設舞台と約1000の客席を設置し、かがり火のもとで薪能を上演する。演目は白河藩主松平定信公を敬愛し南湖神社の創建にも尽力した渋沢栄一を主人公とする「青淵」である。

Q　清水門復元整備事業の進捗状況と今後の予定について伺う。

A　工事全体の約85％の進捗率となっており、今後は建物内部の仕上げ工事に加え清水門へつながる土橋の舗装やライトアップ照明などの外装工事を進め、予定通り来年3月の工事完了を見込んでいる。4月上旬に白河藩400周年記念事業の一環として清水門復元完成記念式典を開催しテープカットやくぐり初めなどを予定している。

Q　中央公民館の全21教室の担当者について伺う。

A　全て社会教育指導員4名が担当している。



建設中の清水門

近隣にある会社の造成・増設、市民の安全・安心は?

建築基準法や消防法を遵守させ、施設の安全管理に配慮



大竹　功一 議員

Q　市民の方から近隣の会社において、現在の敷地内が新たに造成され、工場が新設されると聞いた。新規工場等の安全・安心はどのようになっているのか。

A　新規工場は、主に防衛装備品の製造だと聞いている。市民への安全・安心について、企業に対しては、建築基準の安全管理に十分配慮を求めていく。また、工場等に伴う騒音、振動、粉じんなど周辺環境への影響についても必要な対策を講じるよう要請していく。

Q　防衛装備品を製造している企業に対して、他国からの攻撃等の緊急事態が発生した場合、市民への周知や避難などはどのように考えているのか。

A　他国からの攻撃などの緊急事態時での市民への周知及び対応については国からのジェイアラートを通して呼びかけると共に防災無線等を活用し避難を呼びかけることとなっている。また、有事の際には、国民保護計画に基づき、影響を受ける自治体において災害対策本部を設置し、国や関係機関と連携調整を図りながら、情報の収集や避難場所の確保及び誘導などの対応をすることとなっている。



誰もが安心して避難所生活ができるよう環境整備と実態把握を!

多様な配慮を想定し、各環境を整備。市民の情報提供を促す



大木　絵理 議員

Q　大規模災害に備え、自主防災組織の設立とその強化を望むが市の考えは?

A　本市の自主防災組織率は16・8％。交付金は1回に限り10万円が上限。今後は組織設立を促進、直接町内会等に働きかけていく。

Q　災害関連死を防ぐためにも、誰もが安心して避難所生活ができるよう、環境整備と避難先での困り事等、各世帯への実態把握を。

A　避難所では、プライバシーを守る区割り、必要に応じて会議室等個別の部屋を確保。医師や保健師へ相談できる環境を整備。「我が家の防災マップメモ」を活用し、市民の自発的な情報提供を促す。

Q　複合施設のランニングコストは?

A　現在精査中。概算見込み額の決定は11月頃になる予定。

Q　投票率向上、主権者教育を目的とした「投票証明証」「親子投票記念証」の発行について市の考えは?

A　一定の効果がある一方、有権者の公平性が確保できるか等、様々な検証が必要。



瀬戸内海放送より引用

令和９年度からの介護保険料はどうなるのか

国の方針が示されていない現時点では、示せない



深谷　弘 議員

Q　介護保険事業3年ごとの見直し、第10期（令和9～11年度）介護保険事業計画の策定作業はどうなっているか。

A　策定スケジュールでは、今年1月から2月にかけ将来の需要推定を行うため日常生活・県域ニーズ調査及び在宅介護実態調査を実施した。7月に国から示された基本指針案を踏まえ、地域課題等を議論し計画骨子を整理する。12月には国より正式な基本指針及び介護報酬の改定率が示される予定となっており、計画素案を作成し、来年1月頃に運営協議会で審議、パブリックコメントを経て、2月頃の運営協議会に図り、最終計画案をまとめていく予定である。

Q　現段階において介護保険料はどうなるのか。国のいろんな考え方や動向などを見たときに、全体として介護保険料は引き上げになる方向なのか。

A　12月頃、国から介護報酬の改定率が示されることになっている。現時点では保険料の方向性（どうなるのか）を示すことはできない。

